

CONTENTS

Cover Story	「おいしさ」を原動力に196年	2
	J-オイルミルズが創造する「食」の可能性	4
	企業理念体系	6
	数字で知るJ-オイルミルズ	7

マネジメント メッセージ	ごあいさつ	8
	社長メッセージ	10

価値創造 ストーリー	Dialogue1: 成長軌道への転換に向けた課題認識と方針 事業戦略	14
	油脂事業	20
	スペシャルティフード事業	24
	J-オイルミルズの価値創造モデル	28
	目指すべき未来の実現に向けたESG経営	30
	マテリアリティ	32

価値創造基盤	Dialogue2: 事業活動の基盤であるESG経営の推進	34
	サステナビリティ推進	38
	人権の尊重	40
	事業継続基盤	
	コーポレートガバナンスの強化	42
	リスクマネジメントの強化/コンプライアンスの推進	50
	サプライチェーンマネジメント	52
	ダイバーシティ&インクルージョン	54
	働き方改革&エンゲージメント	54
	企業風土・意識改革	54
	地域社会への貢献と協働/適時適切な情報開示	57
	環境負荷の抑制	60
	TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)への対応	62
	食資源の維持	64
	食を通じた健康への貢献	66
	DXへの取り組み	68

データ編	主要財務データ	69
	非財務データ	70
	MD&A(経営者による財政状態および経営成績の分析)	72
	連結財務諸表等	74

	会社情報	77
	J-オイルミルズレポート2022発行にあたって	78
	第三者意見	79

COVER STORY

私たちは、おいしさ×健康×低負荷で

人々、社会、環境へ貢献します。

目指すべき未来「Joy for Life® -食で未来によるこびを-」

を達成するために。

佐藤 達也

代表取締役社長執行役員

COVER STORY

J-オイルミルズは、2002年に設立し、2004年にホーネンコーポレーション、味の素製油、吉原製油の3社の各事業子会社を含め完全統合しました。各社の歴史は古く文政の時代まで遡ります。190余年に及ぶ歴史のなかで、各社が培ったノウハウや強みを融合させ相乗効果を発揮することで、商品・サービスを通じて社会にさまざまな価値を提供してきました。国内で培った技術力と経験を活かし、海外へ視野を広げて一歩ずつ前進しています。

「おいしさ」を原動力に

196年

味の素製油

1826

熊沢家(のちの熊沢製油産業株式会社)が尾張一宮で水車式搾油場をつくる

1942

熊沢製油産業株式会社が設立

1999

味の素製油株式会社が設立

2001 味の素製油株式会社と熊沢製油産業株式会社が合併

2002

株式会社ホーネンコーポレーションと味の素製油株式会社が経営統合し、株式会社豊年味の素製油を設立

ホーネンコーポレーション

1907

南満州鉄道が大連で大豆製油の研究開始

1922

豊年製油株式会社(のちの株式会社ホーネンコーポレーション)創立

2000

日華油脂株式会社を完全子会社化

1966

豊年製油株式会社、吉原製油株式会社の合併で日本大豆製油株式会社設立

吉原製油

1855

油問屋川田家の事業を引き継ぎ吉原商店(のちの吉原製油株式会社)が創業

製油業界をリードしてきた3社が合併



味の素製油

創造力

- ・油脂のおいしさの研究
- ・家庭用市場での高い認知度



ホーネンコーポレーション(豊年製油)

挑戦心

- ・原料を使い切る取り組み
- ・業務用市場での強固な営業基盤



吉原製油

探求心

- ・さまざまな油種の取り扱い
- ・油酸化測定を通じた顧客の課題解決



2004

各事業子会社を完全統合し、株式会社J-オイルミルズ発足

2007

豊年リーバ株式会社を日本リーバ株式会社から譲受し、マーガリン事業に参入

2014

タイに合併会社J-OIL MILLS(THAILAND) Co., Ltd.を設立

2019

マレーシアの油脂加工品会社Premium Fats Sdn Bhdを連結子会社化

2011

粉末油脂事業に参入

2018

複合型プレゼン施設「おいしさデザイン工房」を開所



Joy for Life

2021

コミュニケーションブランドJOYLを導入



J-オイルミルズが創造する「食」の可能性

J-オイルミルズは、植物から生まれる「あぶら」「でんぷん」「たんぱく」の三要素を活かし、おいしさや人々の健康、社会や環境の負荷抑制という新たな価値を創造しています。



低負荷

私たちは、大豆・菜種などの自然の恵みを活かした事業を行っています。将来にわたり、皆さまに安心・安全な商品を提供していくために、環境・社会・人に配慮しています。

例えば、当社の独自技術「SUSTEC®」(サステック)を用いて開発した長持ち油は、サプライチェーン全体におけるCO₂排出量やお客様の作業負担を減らすことができます。

持続可能な社会の実現に向けて、取り組んでいます。



おいしさ

私たちは、素材と当社独自の技術を掛け合わせる「強みの掛け算」で、身の回りにおける数多くの食品に「おいしい」を提供しています。

例えば、当社のスターチは、水も油も吸収・保持するためハンバーグやから揚げなどのおかずのジューシー感をアップしたり、できたてのおいしさを保つことができます。

さまざまな食シーンにおいて、おいしさをデザインしています。



健康

私たちは、三大栄養素の一つでもある「あぶら」はもちろん、ビタミンK₂などの健康維持に欠かせない素材や商品を提供しています。

健康に良いモノをより多くの皆さまに手軽に摂取いただけるよう、当社独自の技術やR&Dを通じて、健康な未来をお届けすべく取り組んでいます。



企業理念体系

当社で働く一人ひとりが、企業理念体系で掲げた、私たちの目指すべき未来(ビジョン)、私たちの使命(ミッション)、私たちの価値/存在意義(バリュー/パーパス)を意識し、自分事化していくことで、より良い社会の実現に貢献していきます。

目指すべき未来

植物から生まれる「あぶら」「でんぷん」「たんぱく」。人が生きるために欠かせない3つの要素を活かしておいしさ、そして人々の健康、社会や環境の負荷抑制に貢献し、未来のよろこびを増やしたい。それが私たちが目指す未来「Joy for Life®」に込めた想いです。

私たちの使命

健康や環境の不安を気にせず、おいしい食事を楽しみたい。おいしい料理をつくり、大切な人やお客様を笑顔にしたい。その願いに応えるため、私たちは独自の強み「おいしさデザイン®」で、「食べる」よろこびと、調理や生産する「つくる」よろこびも創造しながら、食にまつわる健康・環境・食資源などの課題に真摯に向き合い、よりよい社会に貢献します。

私たちの価値／存在意義

どんな時も領域や常識、限界の壁を越え仲間とつながり、共に挑戦します。その先にいる人々の期待を超えてまだどこにもない価値を創るために。その価値と行動の基盤として生活に欠かせないあぶらの提供を原点に、自然の恵みから可能性を引き出し人に真摯に寄り添い貢献していくという私たちの存在意義を忘れず食を支え続けます。



数字で知るJ-オイルミルズ

会社の特長

連結売上高

2021年度実績

2,016 億円
(前年度比+22.3%)

国内外の従業員数

2021年度末時点

1,361 名
(うち海外22名)



連結会社数

2021年度末時点

4 社



・国内2社
・海外2社(タイ1社、マレーシア1社)

生産拠点

2021年度末時点

8 拠点



・国内7拠点
・海外1拠点(マレーシア1拠点)

事業の特長、強み

大豆・菜種など原料年間使用量

2021年度実績

165 万t



日本国内の 業務用食用油 販売量シェア

2021年度当社推定



家庭用食用油発売

70 年以上



AOCS*のオリーブ オイル官能評価に 関する技能評価試験

2022年9月時点



*アメリカ油化学会(American Oil Chemists' Society)